

### 癌化学療法 投与計画書

病名: 再発または難治性の多発性骨髄腫

プロトコール名: DLd療法(7サイクル以降)

クール目  
 開始日   
 次回予定日

身長(cm)       体重(kg)       体表面積(m<sup>2</sup>)

**確認事項**

- 2回目以降のダラザレックスの希釈用生食は、初回開始時から3時間以内にInfusion reactionが認められなかった場合、500mLで可。
- 3回目以降のダラザレックスの投与时速度は、忍容性良好であれば100mL/hから開始可。
- 76歳以上、BMI18.5kg/m<sup>2</sup>未満、コントロール不良の糖尿病又はステロイド療法に忍容性がない、もしくは有害事象を発現した患者に対しデキサメタゾン20mg/週で投与可。
- デキサメタゾンの総投与量は40mg/週とする。Day8~14、Day15~21、Day22~28の内服については、各期間のうちいずれか1日内服すること。

点滴:ダラザレックス投与時には、0.2μmのフィルターを使用すること

薬品名	プロトコール標準量	投与量	経路	点滴時間・速度	コメント	DAY 1	DAY 2	...	DAY 8	...	DAY 14	DAY 15	...	DAY 21	DAY 22	...	DAY 28	標準投与量
						1月 0日	1月 1日		1月 7日		1月 13日	1月 14日		1月 20日	1月 21日		1月 27日	
1 レブラミドカプセル(5mg)	25mg/body		経口		Corが30-60mL/minの場合は10mg/body内服	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25mg
2 ソルデム3輸液		500mL	点滴	3時間		○												
3 生理食塩液		100mL	側管	1時間		○												
デキサート(6.6mg)		3瓶				○												
4 レスタミンコーワ錠(10mg)		3錠	経口			○												
カロナール錠(200mg)		4錠	経口			○												
5 生理食塩液		50mL	側管		前後フラッシュ用	○												
6 生理食塩液		初回1000mL、 2回目以降500mL	側管		初回 50ml/h(1h)→ 100ml/h(1h)→ 150ml/h(1h)→ 200ml/h 3回目以降 100ml/h(1h)→ 150ml/h(1h)→ 200ml/h	単独で	○											ダラザレックス
ダラザレックス	16mg/kg						○											mg
7 生理食塩液		50mL	側管		前後フラッシュ用	○												
8 レナデックス錠(4mg)	20mg/body	20mg	経口				○											
9 レナデックス錠(4mg)	40mg/body	40mg	経口						○(Day8~14のいずれかに内服)		○(Day15~21のいずれかに内服)			○(Day22~28のいずれかに内服)				

**1サイクル: 28日**  
**投与日: ダラザレックス day1**  
**レブラミド day1~21**